

## センター長 より

### トライアル研究センター（地域共同テクノセンター）長 西澤 辰男

グローバル化の時代にあってもご近所づきあいというのは難しいものです。物理的に近いがゆえに対応が難しいですが、いったん良い関係になるとこれほど心強い味方ありません。冷静に対応していきたいものです。経済的には依然難しい日本の状況ですが、10月に山中京大教授のノーベル賞受賞という明るい話題があり、日本の科学技術の底力を世界に示しました。地道な基礎研究の大切さを改めて認識したところです。

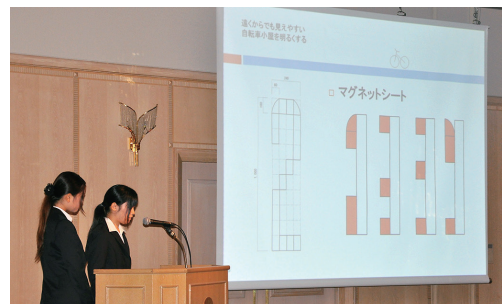
本校の学生も北陸高専体育大会7連覇、ロボコン全国大会出場など、様々な活動で活躍しています。地域貢献の面では、今年度の公開講座がすべて好評のうちに終了しましたし、出前授業も引き続いて実施していく予定です。技術振興交流会では、ネットワークをさらに広げるために協会などの団体にも特別会員として入会いただけるように規則を改正しました。見学交流会や会員のニーズに応えた人材育成事業も計画中です。地域の皆様のご支援を得ながら、石川工業高等専門学校でも確かな基礎力を蓄えていけるようトライアル研究センターも活動をしていきますので、皆様方のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

## トピックス

### 石川高専技術振興交流会総会・第22回産学官交流懇談会を開催

9月4日（火）、ホテル日航金沢において、平成24年度石川工業高等専門学校技術振興交流会総会が開催されました。最初に澁谷 進 会長（澁谷工業(株) 取締役副会長）が議長を務め、平成23年度の事業報告・決算報告・会計監査報告・平成24年度の事業計画・予算案が原案どおりに承認されました。

引き続き、会員企業、官公庁の関係者及び本校の教員が参加して、第22回産学官交流懇談会を開催しました。懇談会は地域の多くの企業、自治体及び関係団体の皆様との連携が益々進展することを祈念して毎年開催しており、今年も、110名を超える参加者があり盛況となりました。最初に、独立行政法人国立高等専門学校機構理事長 小畑 秀文 氏による「高専における産官学連携とグローバル化」と題する特別講演が行われ、今後の産官学連携、教育の高度化及びグローバル人材のための戦略等について提言を受けました。続いて、本校の高島 要 副校長から石川高専の近況として、最近の高専施設、教員や学生の現況に関して紹介を行った後、今回初めての試みとして、学生のオンリーワン・プロジェクトの発表の場を設け、学生がものづくりの現状・成果を披露しました。また、教員発表では、電子情報工学科 小村 良太郎 准教授及び建築学科 道地 慶子 准教授の研究発表が行われ、今後の産官学連携・交流のきっかけとなるものと期待されています。



学生による発表の様子

懇談会終了後は、懇親会が開催され、自治体、企業関係者と本校教員とが多数、テーブルを囲み常日頃の研究や企業技術について情報交換を行い、交流を深めました。

### いしかわモノづくりトライアルに参加



製作中の小学生

10月14日（日）、石川県産業展示館3号館において、いしかわモノづくりトライアルが開催され、本校も参加しました。

いしかわモノづくりトライアルは第40回石川の技能まつりのイベントの一つで、県内の工業系教育機関が技能体験の場を提供するとともに進学相談にも応じることで、小中学生等にモノづくりへの興味・関心を抱かせることを目的としています。

今回は、「ぶんぶんゴマをつくろう」と「からくり屏風をつくろう」の技能体験を行い、延べ62人のこどもが技術教育支援センター職員から作り方の手解きを受けながら工作に勤めました。

また進学相談を希望する保護者に対し、高島 要 副校長と西澤 辰男 教員が個別相談を行いました。



進路指導に応じる教員の方々

## トライアル研究センター 活動状況

実施日	内容	備考
8月18日(土)	Android研究会	講師:電子情報工学科 越野 亮
8月20日(月)	全国高専テクノフォーラム(京都)	「高強度コンクリートを用いたコンクリート舗装構造および設計法の開発」 環境都市工学科 西澤 辰男 「金沢市こなん水辺公園への魚道設置」 環境都市工学科 高野 典礼
9月 4日(火)	技術振興交流会役員会・総会及び第22回産学官交流懇談会	場所:ホテル日航金沢
9月 8日(土)	IT研究会	講師:電子情報工学科 越野 亮
9月13日(木)	第7回石川高専技術振興交流会会員企業並びに石川高専教員による交流会	場所:北陸電力株式会社 志賀原子力発電所見学
10月14日(日)	第40回石川の技能まつり いしかわモノづくりトライアル	「ぶんぶんゴマをつくろう」 「からくり屏風をつくろう」 技術教育支援センター
10月26日(金)	しんきんビジネスフェア	「石川工業高等専門学校との地域連携活動」 トライアル研究センター長 西澤 辰男
11月 3日(土) ~11月 4日(日)	津幡町商工会工業展	「モーションセンサーで遊ぼう」 電子情報工学科 越野 亮 「地震に強い家づくり」 建築学科 船戸 慶輔 「ロボコンの展示」 ロボコン研究部(機械工学科 藤岡 潤)

## 今後の活動予定

実施日	事項	備考
11月27日(火) 12月11日(火)	技術振興交流会 研修事業(全2回)	「機械の安全設計のポイント」 講師:吉川 博氏 (石川高専非常勤講師、吉川技術士事務所) 場所:本校 トライアル研究センター
1月21日(月)	専攻科 長期インターンシップ報告会	場所:本校
1月30日(水)	企業技術説明会	場所:本校 第二体育館

### ■技術振興交流会会員のご紹介(平成24年6月~)

ホクシン工業株式会社 様  
株式会社長村建築事務所 様  
株式会社イシメックス 様

### ■ご案内

専攻科 長期インターンシップ報告会を平成25年1月21日(月)に本校にて開催します。学生受入の有無に関わらず会員の皆様には是非参加いただきますようお願いいたします。

## 設備機械紹介

### 「精密万能試験機」

本機器は、(株)島津製作所製の精密万能試験機「オートグラフAG-Xplus」(負荷容量250kN)を中心とする材料試験システムで、主に各種機械部品や製品の品質管理や製品開発時に行う静的試験に用いることができます。

引張、圧縮、曲げなどの一般的な試験を行うことができます。

負荷駆動はバックラッシュレス精密ボールねじにより行われ、クロスヘッド速度は0.0005~1000mm/min、クロスヘッド - テーブル間隔は最大1250mmです。

ロードセルは5kN、20kN、250kNの3種類を備えています。

また、応力制御、ひずみ制御をリアルタイムに行う機能があります。

本体制御用パソコン端末には、材料試験オペレーションソフトウェア「TRAPEZIUM X」がインストールされており、試験条件設定、試験結果の処理、レポート作成を簡単な操作で行うことができます。

■機械工学科 担当教員:堀 純也

機器設置場所:機械工学科棟 1階 材料力学実験室



### 各種のお問い合わせや技術相談は

石川工業高等専門学校 トライアル研究センター  
〒929-0392 石川県津幡町北中条

TEL 076-288-8080 FAX 076-288-8014

Email: itctrtrial@ishikawa-nct.ac.jp http://www.ishikawa-nct.ac.jp/tech/

### 編集後記

会員企業紹介冊子の原稿を寄稿頂きありがとうございました。只今製本に向けて作業中であり、本校の学生は各企業に対する関心が強く、またこの冊子が産学間の交流のきっかけに少しでも役立てばと願っております。